

全数把握対象感染症

周回へ感染が広がるのを防止することが必要な感染症や、発生数が少なく、定点医療機関では正確な患者数が把握できない感染症（一類～四類，新型インフルエンザ等感染症及び五類の一部）が対象となっており，診断したすべての医師から，直ちにあるいは7日以内に，届出られます。

全数把握の対象となる感染症

感染症の類型	対象の感染症
一類感染症	エボラ出血熱，クリミア・コンゴ出血熱，痘そう，南米出血熱，ペスト，マールブルグ病，ラッサ熱
二類感染症	急性灰白髄炎，結核，ジフテリア，重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。），中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。），鳥インフルエンザ(H5N1)，鳥インフルエンザ(H7N9)
三類感染症	コレラ，細菌性赤痢，腸管出血性大腸菌感染症，腸チフス，パラチフス
四類感染症	E型肝炎，ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。），A型肝炎，エキノコックス症，黄熱，オウム病，オムスク出血熱，回帰熱，キャサナル森林病，Q熱，狂犬病，コクシジオイデス症，サル痘，ジカウイルス感染症，重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。），腎症候性出血熱，西部ウマ脳炎，ダニ媒介脳炎，炭疽，チクングニア熱，つつが虫病， Dengue熱，東部ウマ脳炎，鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。），ニパウイルス感染症，日本紅斑熱，日本脳炎，ハンタウイルス肺症候群，Bウイルス病，鼻疽，ブルセラ症，ベネズエラウマ脳炎，ヘンドラウイルス感染症，発しんチフス，ボツリヌス症，マラリア，野兎病，ライム病，リッサウイルス感染症，リフトバレー熱，類鼻疽，レジオネラ症，レプトスピラ症，ロッキー山紅斑熱
五類感染症の一部	アメーバ赤痢，ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。），カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症，急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。），急性脳炎（※），クリプトスポリジウム症，クロイツフェルト・ヤコブ病，劇症型溶血性レンサ球菌感染症，後天性免疫不全症候群，ジアルジア症，侵襲性インフルエンザ菌感染症，侵襲性髄膜炎菌感染症，侵襲性肺炎球菌感染症，水痘（入院例に限る。），先天性風しん症候群，梅毒，播種性クリプトコックス症，破傷風，バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症，バンコマイシン耐性腸球菌感染症，百日咳，風しん，麻しん，薬剤耐性アシネトバクター感染症
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ，再興型インフルエンザ

（※）ウエストナイル脳炎，西部ウマ脳炎，ダニ媒介脳炎，東部ウマ脳炎，日本脳炎，ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。